

北海道雪氷ニューズレター

No.20 2004年11月9日発行

(社)日本雪氷学会北海道支部

—— 内 容 ——

1. 地域講演会のお知らせ
2. 新潟県中越地震・雪氷災害調査検討委員会の発足のお知らせ

1. 地域講演会のお知らせ

(社)日本雪氷学会北海道支部では、平成16年度地域講演会を、以下の通り開催いたします。学会員以外の方の参加も大いに歓迎いたしますので、開催地近隣にお住まいの方や興味をお持ちの方にご案内頂けますようお願いいたします。多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

～ 平成16年度 (社)日本雪氷学会北海道支部 地域講演会 ～

交通途絶の大雪、あなたはどう動いたか？－2004年北見大雪の実態と対策－

日 時：平成16年11月26日(金) 午後6時～8時
場 所：北見工業大学・総合研究棟2階・多目的講義室
講演対象：一般市民および雪氷関係技術者など
参加費：無料

■開催趣旨：

北海道は寒くて雪の多い、いわゆる積雪寒冷地域ですが、道東地方に降る雪の量は、それほど多くないことで知られています。しかし2004年冬季、北見を中心とした道東地方は、記録的な大雪とそれによる災害に見舞われました。特に北見周辺では、大雪後に平時の生活環境や社会活動環境を取り戻すのに、かなりの時間を要しました。

暖冬少雪であった近年においてまれに見るこの大雪は、たまたま発生したのかもしれませんが。あるいは、最近日本や世界各地で発生している大雨や洪水、大雪、干ばつなどの異常気象を引き起こすとされている地球温暖化によるものなのかも知れません。いずれにしても、またあの大雪がいつ道東地方で発生するとも限らないのです。そのときには、2004年の大雪の経験を活かして、地域の中で様々な立場の人が協力して対応することが望まれます。

本地域講演会では、行政や気象雪氷の専門家および一般市民の立場から、大雪の実態や大雪時の様々な課題についてご講演を頂くとともに、市民の皆様のご参加のもと議論を行います。

■講演会プログラム:

総合司会: 河村俊行(日本雪氷学会北海道支部幹事長)

あいさつ: 竹内政夫(日本雪氷学会北海道支部支部長)

I. 講演 (講演時間:各15分) 18:05~19:20

1)2004年北見大雪の特徴 ~雪氷気象の見地から~

高橋 修平 北見工業大学

2)大雪で一番困ったこと ~一般市民の目から見た大雪~

中村 嘉孝 北見市・美山あかしや団地町会長

3)国道交通をいかに守ったか ~国道の大雪対策~

岡田 治憲 北海道開発局北見道路事務所

4)生活空間確保の苦闘 ~地方自治体の大雪対策の実情~

田中 俊幸 北見市都市建設部

5)2004年1月13~16日の大雪と暴風雪 ~大雪時の天気図~

越前谷 孝 網走地方気象台

II. パネルディスカッション 19:20~20:00

「また大雪が来たらどうする？」

コーディネーター: 賀久正則((財)日本気象協会北海道支社)

パネリスト: 各講演者

2. 新潟県中越地震・雪氷災害調査検討委員会の発足のお知らせ

新潟県中越地震は、新潟県の山村豪雪地域に甚大な被害を与えました。その被害は、間近に迫る冬の雪氷災害に対する危険度を増大させ、同時に雪氷災害に対する抵抗力(防災力)をも著しく弱めています。(社)日本雪氷学会と日本雪工学会は、合同で本委員会を立ち上げ、起こりうる雪氷災害の危険性を調査し、災害軽減につながる対応策の検討を始めました。

詳しくは、ホームページをご覧ください。 http://snowy.web.infoseek.co.jp/winter_eq/

<事務局からのお願い>

ニューズレターの送付先を変更する場合は、新しい送付先を、幹事長または庶務幹事までお知らせ下さい。また、ニューズレターや日本雪氷学会北海道支部の活動に関するご意見、ご感想をお寄せ下さい。お寄せいただいたご意見については、次回幹事会で検討致します。

(社)日本雪氷学会 北海道支部

事務局: 〒060-0819 札幌市北区北 19 条西 8 丁目

北海道大学低温科学研究所

支部幹事長

河村 俊行

ニューズレター連絡先: 〒064-0804 札幌市中央区南 4 条西 6 丁目 11-2 全日ビル

(株)雪研スノーイーターズ

支部庶務幹事

大槻 政哉

Tel :011-272-3540

Fax:011-272-3550

E-mail:otsuki@snow-eaters.com